

ハイパーカミオカンデ^{けんがくかい}見学会のお話^{はなし}（おまけ）

とうとう日本の観測史上^{にほん かんそく しじょう い}1位の最高気温^{さいこう きおん}が更新^{こうしん}されてしまいましたね。今日^{きょう}は曇^{くも}っているので気温^{きおん}は少し^{すこ}ましですが、湿度^{しつど}が高^{たか}くてじっとりしています。全国的^{こくてき}に水不足^{みず ぶそく}も心配^{しんぱい}されていますが、今年^{ことし}のお米^{こめ}は大^{だい}丈夫^{じょうぶ}でしょうか…

さて、3回^{かい}にわたってハイパーカミオカンデ^{けんがくかい}見学会^{けんがくかい}についてお話し^{はな}してきましたが、今回^{こんかい}は「おまけ」ということで、行き帰り^{い かえ}や見学会^{けんがくかい}の待ち時間^{まち じかん}に見たもの^みを紹介^{しょうかい}していこうと思います^{おも}。



神通川^{じんづうがわ}の上流^{じょうりゅう}の川原^{かわら}。石^{いし}はやや丸^{まる}くなっています。

火成岩^{かせいがん}も堆積岩^{たいせきがん}も落^おちていて、石拾い^{いしひろ}が楽^{たの}しめました。



マタタビの葉（左）と花（右）

初夏の花の時期には葉が白くなる。山道を車で走っていても気が付くほど目立つので、探して見るのも面白い。

神岡鉱山の沿革

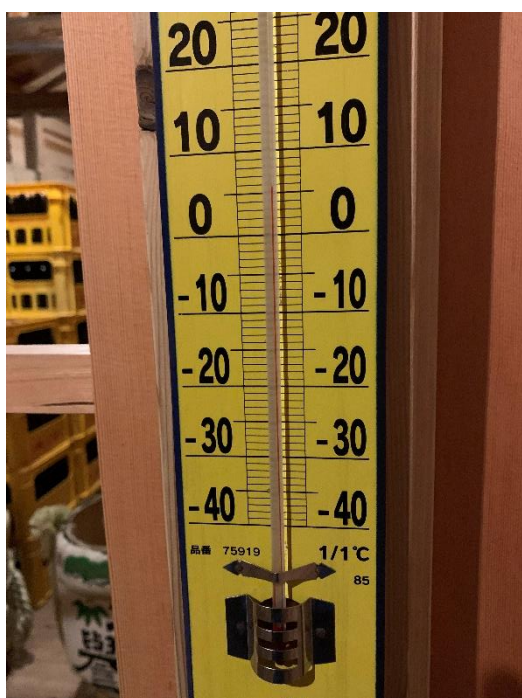
- 1. 鉱山の発見**
養老年間この地に銅が発見されたという口碑があり、これを当山の起算となす。
- 2. 土豪支配時代（1500年前後）**
室町末期この地の豪族江馬氏によって銀・銅・鉛の採掘が行われた。
- 3. 藩支配時代（1585年）**
天正13年から約100年にわたって飛騨国藩主によって開発され、特に慶長年間鉱山師虎住宗典によって隆盛をきわめた。
- 4. 天領時代（1692年）**
元禄5年から飛騨は天領となり、鉱山は講買制によって採掘が行われた。
- 5. 三井組時代（1880年）**
明治7年三井組が一部採掘に着手し、明治20年ごろその大部をおさめ本格的に採掘するに至った。
- 6. 三井鉱山合名会社時代（1893年）**
明治26年事業拡張にともない合名会社を設立した。
- 7. 三井鉱山株式会社時代（1911年）**
明治44年会社を株式となり事業も飛躍的に発展した。
- 8. 鉛・亜鉛の時代（1913年）**
大正2年に亜鉛焼炉、昭和18年に 焼鉛硫酸工場の完成を見て一躍鉛、亜鉛鉱山として飛躍した。
- 9. 三井金属鉱業株式会社時代（1950年）**
昭和25年三井鉱山の金属部門が分離三井金属鉱業株式会社として振興を続けた。
- 10. 神岡鉱業株式会社時代（1986年）**
昭和61年7月、三井金属鉱業株式会社から独立、現在に至る。



カミオカンデの掘削工事を担当した神岡鉱業の資料館

神岡鉱山は4大公害病の1つ、イタイイタイ病の原因と

なったことでも有名。



途中の道の駅にあった風穴。野菜やお酒の保存に利用されていて、中はなんと6℃！！

暑い中を5, 6分歩いて行ったのですが、中は寒いと感じるほどでした。気持ちよかったです！

お盆休みにどこかにお出かけする人も多いと思います。目的地にまっすぐ向

かうだけでなく、寄り道も楽しんでみて下さいね。

25/8/7 (わりと寄り道がメインになりがち) あん Do